

(申請者)

団体名 響きあうアート宗像実行委員会

代表者氏名

住所

電話番号

令和8年度宗像市元気な島づくり事業補助金交付申請書

令和8年度宗像市元気な島づくり事業補助金において、宗像市元気な島づくり事業を実施したいので、宗像市補助金等交付規則（平成15年宗像市規則第31号）及び宗像市元気な島づくり事業補助金交付要綱（平成17年宗像市告示第34号）に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 目的及び内容

継続事業 4年目

<p>事業名 (20字以内で 記入してください)</p>	<p>「響きあうアート宗像」</p>
<p>事業の目的 (300字以内で 記入してください)</p>	<p>宗像市には公立美術館がなく、芸術作品に触れる機会が少なく感じられます。そこで、雄大な自然と世界遺産を誇る大島の魅力を活かした宗像ならではの芸術鑑賞の機会創出を続けるため、2023年度事業であった第1回芸術祭に続き、2026年11月の第2回芸術祭を開催します。また、観る側が芸術を体験する場を作る為、鑑賞だけでなく、芸術を体感できるようなパフォーマンスアート、神楽等のイベントを行います。 また、市のインバウンド事業にもご協力いただき、国内のみならず、海外にも芸術のある大島の魅力を発信し、一度は訪れてみたい島、観てみたい芸術祭を目指す。</p>
<p>事業の内容 (300字以内で 記入してください)</p>	<p>・2026年11月1日～15日を会期として「響きあうアート宗像」第2回芸術祭を行う。その為の準備及び告知を開始する。 ・10月17日に芸術祭プレイベントとして、大島の海岸にて神楽等のパフォーマンスアートのイベントを開催する。その為の準備及び告知を開始する。 *具体的な内容については、別添資料として企画書2点をご参照ください。</p>

2. 補助金の額及び算出の基礎

<p>申請額</p>	<p>500,000 円</p>
<p>算出の基礎</p>	<p>別紙予算書の（様式2号）のとおり</p>



実施スケジュール	<p>4月 クラファン準備開始・企画書/HP英訳・インバウンド企画準備 ・広告制作物発注・ボランティア募集開始</p> <p>5月 クラファン準備・協賛募集・広告制作物準備・インバウンド企画開始 ・作家顔合わせ</p> <p>6月 クラファン準備・協賛募集・広告制作物準備・インバウンド企画実施</p> <p>7月 クラファン開始・協賛募集・広告制作物配布・インバウンド企画実施</p> <p>8月 クラファン実施・協賛募集・広告制作物配布・ボランティア確保 ・インバウンド企画実施</p> <p>9月 クラファン実施・協賛募集・広告制作物配布・ボランティア説明会 ・作品及び材料運搬計画・インバウンド企画実施</p> <p>10月 神楽等パフォーマンス実施（大島）・広告制作物配布・搬入開始 ・インバウンド企画実施</p> <p>11月 ・第2回芸術祭実施（1日～15日）・ヌーソロジー講演会（1日）</p> <p>12月 ・お祝い・お礼・報告書等作成</p> <p>1月 第2回芸術祭図録作成検討</p> <p>2月 第2回芸術祭図録作成検討・次年度計画</p> <p>3月 第2回芸術祭図録作成検討・次年度計画</p>												
期待される効果	<p>市のインバウンド政策や第1回を体験した海外の方と連動することにより、宗像にこの芸術祭があることを第1回よりも告知の範囲を広げ、周知できると期待しています。</p> <p>この芸術祭が世界遺産群に見られる宗像の古代信仰とリンクしているとも考え、プレイベントでは神楽等のパフォーマンスアートを実施します。本イベントを通し、当団体の共有認識である、「芸術を体験するということが自己と向き合うこと」を促す効果にも期待し、地元の方々や、実際に訪れた県外、海外からの旅行者にも特別な体験を提供できると考えます。</p> <p>また、その体験や評価から地元の良さを再発見した市民による地域活性化にも期待します。</p>												
事業の成果を受けた以降の事業展開・団体の活動展開（特に補助金終了後の活動展開・内容について）	<p>補助金によりある程度の知名度を得た後は、地元企業等スポンサーからの協賛金とクラウドファンディング、グッズ販売やインバウンド事業による収益を利用し運営したいと考えています。</p>												
補助申請希望期間	<p>補助の継続を希望する場合は、「あり」と希望する年度に○印を記入してください。令和8年度のみ補助を希望する場合は「なし」に○印を記入してください。</p> <table border="0"> <tr> <td>■昨年度の申請</td> <td>○ あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>■継続の希望</td> <td>○ あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>■継続希望期間</td> <td>2年目</td> <td>3年目</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4年目</td> <td>○ 5年目 令和9年度</td> </tr> </table>	■昨年度の申請	○ あり	なし	■継続の希望	○ あり	なし	■継続希望期間	2年目	3年目		4年目	○ 5年目 令和9年度
■昨年度の申請	○ あり	なし											
■継続の希望	○ あり	なし											
■継続希望期間	2年目	3年目											
	4年目	○ 5年目 令和9年度											

* 上記の補助申請希望期間において、継続の希望を「あり」とした場合は、次の「次年度以降の事業の概要」に記入してください。

次年度以降の事業の概要	<p>私たちは、3年に一度芸術祭を開催し、間の2年は「市民が表現する・アートを知る・宗像を知る」ことができるようなワークショップ・講演・イベントを行います。関わりあうすべての人がアーティストであると言えるコレクティブとして、今後も活動を通して「アートとは」「宗像の精神とは」を皆さんとともに深めていきたいと考えています。</p> <p>芸術祭に出展する作家陣については、有名無名を問わず、観る人が自分と向き合える作品を生み出してくれることを期待できる若手や真摯に芸術を続けてこられたアーティストに参加してもらいたいと考えます。</p> <p>また、市民の力でつくるこの芸術祭が大島、宗像の精神性との関わりをもって、広く県外や海外に知られ、市民が宗像を誇りに思えるような事業を目指します。</p>
-------------	---

【収入】

経費の内訳	予算額	摘要 (内容・積算根拠)
市補助金	(A) 500,000 円	元気な島づくり事業補助金
	0 円	イベント参加費
	1,572,000 円	協賛金・クラファン
	円	
合計	(B) 2,072,000 円	

【支出】

経費の内訳	予算額	左記のうち補助対象経費	摘要 (内容・積算根拠)
報償費	100,000 円	100,000 円	演者出演料 (未定)
旅費	364,000 円	364,000 円	ガソリン代 37円/km 駐車場代 大島レンタカー代 宿泊代: 実行委員・イベントスタッフ (イベント後、船がないため)
需用費	172,000 円	172,000 円	パンフレット アート作品展示マップ フライヤー・ポストカード・ポスター等 展示作品サイン(キャプション) 消耗品費(文房具・ハレパネなど)
役務費	40,000 円	40,000 円	郵送料 振込手数料
委託料	170,000 円	170,000 円	のぼり 12部 写真撮影費 動画撮影費
使用料及び賃借料	100,000 円	100,000 円	音響機材レンタル料 ポータブル電源レンタル料 ポータブルスピーカーレンタル料 トラック・ユニックレンタル料
原材料費	747,000 円	747,000 円	作家制作補助費 神楽舞台作成費 LEDキャンドル
小計	1,693,000 円	(C) 1,693,000 円	

宗像市渡船に係る旅費	193,800 円	(D) 193,800 円	神湊～大島間渡船料(1140円×のべ170名)
宗像市渡船に係る役務費	185,200 円	(E) 185,200 円	神湊～大島間貨物航送料 大型彫刻搬入・搬出用:4tユニック、トラックなど 神楽イベント用乗用車 スタッフ用乗用車

元気な島づくり事業補助金(A)	【(C)×補助率 0.5 + (D)+(E)】
	計算後、千円未満は切り捨て (最高50万円) 500,000 円

※経費の内訳は、(1)報償費(講師料) (2)旅費 (3)需用費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費) (4)役務費(通信運搬費、手数料、保険料) (5)委託料 (6)使用料及び賃借料 (7)原材料費
 ※補助率は、1年目～3年目…4分の3、4年目・5年目…2分の1
 ※「宗像市渡船に係る旅費及び役務費」は交付期間中、全額補助します。限度額は、全額補助経費と一部補助経費の合計で50万円です。

令和7年度年度宗像市元気な島づくり事業実績の概要について

<注意> この様式は、令和7年度に補助金を受けた団体のみ提出が必要です。

団体名	響きあうアート宗像実行委員会
事業名	響きあうアート宗像
実施した事業の内容	<p>* 実施した経過を含めて記入してください。</p> <p>第2回芸術祭開催準備と並行し、（一社）宗像観光協会の協力により募集型企画旅行としてスタディツアーを行った。宗像歴史観光ボランティアの会による大島のガイド、砲台跡に今も残る第1回芸術祭作品の作家解説、福岡県立美術館特任学芸員の学芸員による講演を行なった。 参加者20名・スタッフ・ボランティア計38名で実施。 また、2026年11月に開催する芸術祭周知の為、QRコード付カード、及び企画書を作成し配布した。</p>
事業の成果	<p>* 課題等を含めて記入してください。</p> <p>参加者の感想（別添アンケート）では、大島に対する好感触を持たれ、ツアー全体を通しての満足度も高く、「響きあうアート宗像」に対する問いでは回答者全員から、“興味があり、次回芸術祭を期待する”という回答をいただき、参加者のうち1名が実際に実行委員会に加入された。 スタディツアーは内容も満足度も高く、実行委員にとっては大きな1歩ではあったが、極めて限られた方々にしか伝えられなかった点を課題とする。</p>
令和7年度の事業実施を踏まえ、特に令和8年度に取り組むこと	<p>今年度は、11月に開催する第2回芸術祭「響きあうアート宗像」に向けて、第1回芸術祭よりも、芸術の大島として広く県外や海外に周知を図れるようインバウンド企画を実施する。 また「芸術を体験することが自己と向き合うこと」という認識を促すようなイベントを実施することにより、地元の方々や、実際に訪れた県外、海外からの旅行者にも特別な体験を提供できると考える。 また、その体験と評価により宗像の素晴らしさを市民に知ってもらい地域活性化に寄与できるよう取り組みたい。</p>